

第3回 吹田市政策会議開催結果について

日時:平成29年8月31日(木)14時10分～15時00分

場所:特別会議室(本庁舎高層棟4階)

政策会議構成員8名の出席

(市長、春藤副市長、池田副市長、総務部長、行政経営部長、税務部長、会計管理者、消防長)

○案 件 名	○担当及び関連する部局名
平成30年度(2018年度)～平成34年度(2022年度)実施計画策定方針及び平成30年度予算編成方針について	行政経営部(企画財政室)
○審議内容と結果	
【案件概要】 平成30年度(2018年度)～平成34年度(2022年度)実施計画の策定及び平成30年度(2018年度)予算編成について、実施計画策定方針と予算編成方針を協議する。	
【所管部の考え方】 平成30年度(2018年度)～平成34年度(2022年度)実施計画の策定と平成30年度(2018年度)予算編成より、事業計画表とそれに基づく予算要求書の提出を同時に求め、ヒアリングも一体的に行うものとする。 選択と集中を図って、歳出を抑制し、財源不足の解消を図る。	
【審議事項】 実施計画策定方針及び予算編成方針について	
【審議結果】 指示・・・本年度以降、予算査定後に将来推計を出すため、実際の数値との差が小さくなる効果があることを丁寧に説明すること。 質問・・・配分予算制度の概要における歳出の人件費などの数値はいつ時点の数値か。 回答・・・人件費と公債費については最新の推計値である。普通建設事業費については平成29年度～平成33年度実施計画における推計値の数値である。 指示・・・枠配分予算のコントロールは部長の腕にかかっている。実効性のない自主事業は精査し、新しい事業にチャレンジする所管に対し後押しするべき。また、トップランナー枠はパイロット事業としても考えるべきである。期間と検証基準をきちんと定めて、その効果を検証した上で査定することを前提に、社会実験的な位置付けで積極的に予算査定をしてほしい。 指示・・・人件費200億円の部局別内訳を示してほしい。事業費と人件費を併せてマネジメントするのが部長の仕事であるので、その二つはセットで提示すべきである。限られた人的資源及び財源を有効に活用し、どういう組織編成でどういう事業を立案すれば、最も効果的かつ効率的に事業を進められるか、各部長マネジメントのもとに取り組んでほしい。 質問・・・仮に人件費を削減した場合は、そのインセンティブとして枠配分予算を増やすなどの対応は考えているのか。 回答・・・配分額を増やすことはできないが、枠外で一定の配慮をするべきと考えている。この後の部長会で、各部長に対して、削減する人件費と物件費をつかえるなど枠配分対象予算外での対応をする説明を予定している。 指示・・・企画財政室はコンサルタント的な目線でアドバイスをしてほしい。他市事例や国の補助制度を示すなど、事業を査定するとともに、効果的な情報を提供してほしい。予算額を減らすだけでなく、必要なものを所管に計上させる視点をもってヒアリングや査定を行うよう努めること。 まとめ・・・本案件は承認された。指示に基づき、実施計画策定方針及び予算編成方針を周知し、手続きを進めることとする。	